ICOM

取扱説明書

国際VHFトランシーバー

IC-M72J

この無線機を使用するためには、総務省の無線局の免許が必要です。
免許を受けずに使用すると、電波法第110条の規定により処罰されます。
この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明で認定された国際VHFトランシーバーです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

使用後はリサイクルへ

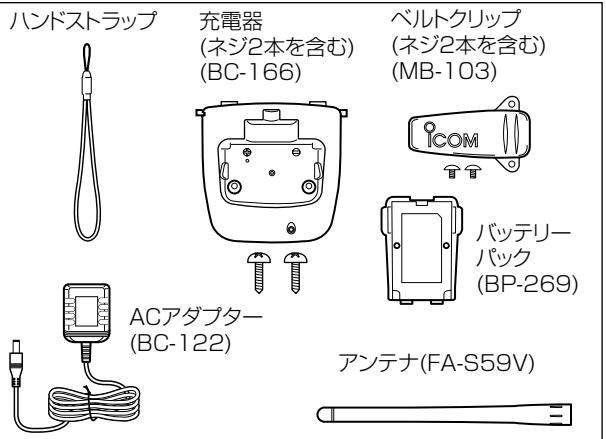
Li-ion

この製品は、充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、デュアルワッチは、アイコム株式会社の登録商標です。

付属品について



- □ 取扱説明書(本書)
- □ 申請書類一式
- □ 愛用者カード
- □ 保証書

本製品の概要について

◎完全防水構造

海上の過酷な環境に耐えられる構造になっており、BP-269を装着することでJIS保護等級8(水中形)相当の性能があります。

➥さらに、排水性を考慮した新しいスピーカーグリル構造によって簡単にスピーカーグリルから排水できます。

◎大きく視認性の高いLCD画面

22.5(縦)×31.5(幅)mmの大型LCDの採用により、見やすく一目で運用状態を確認できます。

➥また、バックライトやLCDのコントラストは、お好みに合わせて調整できます。

◎デュアルワッチ/トライワッチ

- ●デュアルワッチは、チャンネル16以外のチャンネルを受信しながら、チャンネル16をモニターします。
- ●トライワッチは、別のチャンネルを受信しながら、チャンネル16とコールチャンネルをモニターします。

◎簡単操作

音量調整ツマミを本機の上面パネルに、チャンネル選択キーを前面パネルに配置することで、片手でも簡単に操作ができます。

防水性能について

本製品はJIS保護等級8(水中形)相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。
次のような使いかたをすると、防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1.5m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックやアンテナ、別売品のスピーカーマイクロホンを付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥などが無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、歪み、ひび割れなどが発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
- アンテナを無線機本体に取り付けないで使用したり、「別売品の防水性能について」に記載する別売品以外を使用したとき
- 使用温度範囲からはずれた温度で使用したとき
- 薬品などの蒸気が発散、または薬品に触れるところに放置したとき

別売品の防水性能について

バッテリーパック(BP-269)およびスピーカーマイクロホン(HM-167)は無線機本体に装着することで、JIS保護等級8(水中形)相当の防水性能になります。

はじめに

電波法上のご注意

◎本製品は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより無線機を使っていただくためのものです。
ご自分で分解や改造をしないでください。

◎免許状に記載されている範囲内で運用してください。

◎特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることは、かたく禁じられています。

◎無線局免許の有効期限は、免許を取得した日から5年間です。
再免許の申請は、免許の切れる6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。

運用上のご注意

◎この無線機を使用するには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。

◎この無線機を船舶以外で使用しないでください。
本機は、海上の船舶で使用するために認められている無線機です。
陸上で使用すると電波法違反で罰せられます。

◎チャンネル16を聴取するようにしてください。

◎チャンネル16を一般通話には使用しないでください。
チャンネル16は、遭難・安全/呼出し専用の共通チャンネルです。
また、指定されていないチャンネルで通信すると、電波法違反で罰せられます。

非常時の運用について

救助が必要な非常時には、下記のようにチャンネル16でDISTRESSコール（遭難信号）を送信します。

チャンネル16で送信する場合

1. MAYDAY（または遭難） 3回
2. THIS IS（こちらは） 1回
3. 遭難船舶局の呼出名称（または呼出符号）、その他の識別表示 3回
4. 遭難した船舶の位置、遭難の種類および求める救助の種類、その他救助を容易にするための事項を伝えます。

海水などが付着したときは？

海水や砂、泥などが無線機やマイクロホンに付着したときは、真水で洗い流してください。洗い流したあとは、水分をふき取り、十分に乾燥させてからご使用ください。

取り扱い上のご注意

◎本製品の故障、誤作動、不具合あるいは停電などの外部要因により、通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
◎本書の著作権およびハードウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

ユーザー登録について

ユーザー登録はバージョンアップ・サービスなどをご提供するときに必要になります。
付属の愛用者カードに必要事項をご記入いただき、必ず投函してください。
また、弊社ホームページから登録される場合は、インターネットから、http://www.icom.co.jp/ にアクセスいただき、サポート情報からユーザー登録用フォームにしたがって必要事項を入力してください。

個人情報の取り扱いについて

弊社が個人情報を利用する場合、事前に明確にした利用目的達成の必要範囲内にて利用し、範囲を超えての利用はいたしません。
弊社の個人情報保護方針については、弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)をご覧ください。

もくじ

はじめに ―― i
- 登録商標について …… i
- 付属品について …… i
- 本製品の概要について …… ii
- 防水性能について …… ii
- 別売品の防水性能について …… ii
- 電波法上のご注意 …… iii
- 運用上のご注意 …… iii
- 非常時の運用について …… iii
- 海水などが付着したときは? …… iii
- 取り扱い上のご注意 …… iv
- ユーザー登録について …… iv
- 個人情報の取り扱いについて …… iv

もくじ ―― v

安全上のご注意 ―― vii
- ■ 無線機本体について …… vii
- ■ バッテリーパックについて …… ix
- ■ 充電器について …… xi

1.ご使用の前に ―― 1
- ■ アンテナの取り付けかた …… 1
- ■ ハンドストラップの取り付けかた …… 1
- ■ ベルトクリップの取り付けかた …… 2
- ■ バッテリーパックの取り付けかた …… 2

2.各部の名称と機能 ―― 3
- ■ 前面/側面パネル …… 3
- ■ 表示部 …… 4

3.基本操作のしかた ―― 6
- ■ チャンネルの選択 …… 6
  - ◇ チャンネル16 …… 6
  - ◇ コールチャンネル …… 6
  - ◇ 国際チャンネル …… 7
  - ◇ ウェザーチャンネル …… 7
- ■ 受信と送信 …… 8
- ■ スケルチレベル調整 …… 9
- ■ コールチャンネルの設定 …… 9
- ■ ロック機能 …… 10
- ■ モニター機能 …… 10
- ■ 自動バックライト機能 …… 10
- ■ VOX機能 …… 10
- ■ アクアクェイク機能 …… 11
- ■ チャンネルネーム/オープニングコメント設定 … 11
  - ◇ チャンネルネームの設定のしかた …… 12
  - ◇ オープニングコメントの設定のしかた …… 12

4.スキャン操作のしかた ―― 13
- ■ スキャンについて …… 13
- ■ タグチャンネルの設定/解除 …… 14
- ■ スキャン操作のしかた …… 14

もくじ

5.デュアルワッチ/トライワッチについて ―――― 15
- ■ 概要 …… 15
- ■ 操作 …… 15

6.セットモード ―――― 16
- ■ セットモード …… 16
  - ◇ セットモード設定項目 …… 16
  - ◇ セットモードの操作 …… 16
- ■ セットモードの機能項目 …… 17
  - ◇ ビープ音機能 …… 17
  - ◇ ウェザーアラート機能 …… 17
  - ◇ プライオリティースキャン機能 …… 17
  - ◇ スキャン再スタートタイマー機能 …… 17
  - ◇ オートスキャン機能 …… 18
  - ◇ デュアルワッチ/トライワッチ機能 …… 18
  - ◇ モニター機能の設定 …… 18
  - ◇ 自動バックライト機能 …… 19
  - ◇ LCDコントラスト …… 19
  - ◇ パワーセーブ機能 …… 19
  - ◇ セルフチェック機能 …… 19
  - ◇ バッテリー電圧表示 …… 20
  - ◇ スケルチ感度 …… 20
  - ◇ チャンネルネームスクロール設定 …… 20
  - ◇ スクロールスピード設定 …… 20
  - ◇ VOXゲイン …… 21
  - ◇ VOXディレイ …… 21

7.充電について ―――― 22
- ■ 安全な充電のために …… 22
- ■ 電池の残量表示について …… 22
- ■ バッテリーパック(BP-269)の定格について … 22
- ■ 正しい充電のために …… 23
- ■ 充電器の取り付けかた(付属品:BC-166) …… 23
- ■ 充電のしかた(BP-269/BC-166) …… 24
- ■ 卓上急速充電器(別売品:BC-119N #65+AD-114) 24
  - ◇ AD-114の取り付けかた …… 24
  - ◇ 急速充電のしかた(BC-119N #65+AD-114) 25

8.回転式ベルトクリップ(MB-86)について (別売品) ―― 26
- ■ 取り付けかた …… 26
- ■ 取りはずしかた …… 26

9.スピーカーマイクロホン(HM-167)について (別売品) 27
- ■ HM-167の使いかた …… 27
- ■ 取り付けかた …… 27

10.別売品一覧 ―――― 28

11.ご参考に ―――― 29
- ■ 故障かなと思ったら …… 29
- ■ 故障のときは …… 30

12.定格 ―――― 31
- ■ 一般仕様 …… 31
- ■ 送信部 …… 31
- ■ 受信部 …… 31

13.チャンネルリスト ―――― 32

安全上のご注意

安全にお使いいただくために、
必ずお読みください。

◎使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
◎次の『⚠危険』『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
◎お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

免責事項
お客様または第三者が、取扱説明書記載の使用方法とは異なる使用方法で本製品を使用したことにより生じた故障、ならびに本製品の違法な使用により生じた故障につきましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
本製品の使用により本製品以外に生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線機本体について

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
引火、火災、爆発の原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たり、けがや故障、および破損の原因になります。

◎**指定のバッテリーパック以外を使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

◎**アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続しないでください。**
感電、故障の原因になります。

◎**製品の分解や改造は、絶対にしないでください。**
また、ご自分で修理しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

◎**万一煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には放置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎**ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。

◎**清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。**
ケースが変質したり、塗料がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

◎**マイクロホンおよび別売品を接続するときは、指定以外の機器を使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎**テレビやラジオの近くで送信しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

安全上のご注意

■ 無線機本体について(つづき)

⚠ 注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎**アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。

◎**－20～＋60℃以外の温度で使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎**強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。

◎**各コネクター部に金属片やゴミを付着させないでください。**
ショートして発火の原因になることがあります。

◎**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
けが、故障の原因になることがあります。
感電やショートして発火の原因になることがあります。

◎**インバーター内蔵の電子機器の周辺で使用しないでください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎**針金などの細い棒でマイクロホン部やスピーカー部の穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。

■ バッテリーパックについて

⚠ 危険	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎**火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。

◎**コンクリートなどの堅い床に落としたりするなど、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎**直射日光の当たる場所や火やストーブのそば、車内や炎天下など、60℃を超える環境で放置、または使用しないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命の低下、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。

◎**火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での充電はしないでください。**
保護装置が動作して、充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、やけどの原因になります。

◆ **バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。**

⚠ 危険

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。

- ●バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
- ●バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
- ●ネックレスなどの金属類や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
- ●バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
- ●弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
- ●バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したりしたときは、こすったり、触ったりしないでください。
  失明、皮膚障害のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ●バッテリーパックは、分解や改造をしないでください。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。

◎赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。

◎電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎指定の充電時間以上、充電しないでください。
満充電後、すぐに再充電を繰り返すと、過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。

◎指定の充電時間を超えても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎バッテリーパックは、ぬれた状態で弊社指定の無線機や充電器に装着しないでください。
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

◎テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。

安全上のご注意

■バッテリーパックについて(つづき)

⚠ 注意　**下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。**

◎下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。

- ●バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
  長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、バッテリー残量が約半分になるまで使用して、無線機から取りはずした状態で保管してください。
- ●以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
  BC-166(付属品:卓上充電器)　:0～45℃
  BC-119N #65(別売品:卓上急速充電器)　:10～40℃
- ●寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- ●無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- ●長期間使用しないときは、バッテリーパックを無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
  約1ヵ月　:－20 ～＋50℃
  約3ヵ月　:－20 ～＋35℃
  約1年　:－20 ～＋20℃

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対に使用しないでください。

ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■ 充電器について

⚠ 危険　**下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。**

◎下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。

- ●ACアダプターは、各充電器で指定された以外のものを使用しないでください。
  BC-166　: ACアダプター(BC-122)
  BC-119N #65+AD-114 : ACアダプター(BC-151)
- ●弊社指定以外のバッテリーパックは、使用しないでください。
- ●弊社指定以外のDC電源ケーブルは、使用しないでください。
- ●分解や改造をしないでください。
  また、ご自分で修理しないでください。

⚠ 警告

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

- ●赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
- ●充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。
  また、水にぬれたときは、使用しないでください。
- ●ぬれた手で電源プラグや機器に絶対触れないでください。
- ●電源ケーブルを踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください。
- ●電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
- ●充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
- ●電源ケーブルが傷ついているときや、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは使用しないでください。
  すぐにACコンセントからACアダプター、または充電器のDCジャックから弊社指定のケーブル(CP-23L、OPC-515L)を抜き、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

⚠ 注意

下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。

◎下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。

- ●以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
  BC-166(付属品:卓上充電器) :0～45℃
  BC-119N #65(別売品:卓上急速充電器) :10～40℃
- ●充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
- ●湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所で充電しないでください。
- ●電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
- ●充電後や充電しないときは、ACコンセントからACアダプター、または充電器のDCジャックから弊社指定のケーブル(CP-23L、OPC-515L)を抜いてください。

◎直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
充電器の火災、故障、変形、変色、またはバッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になることがあります。

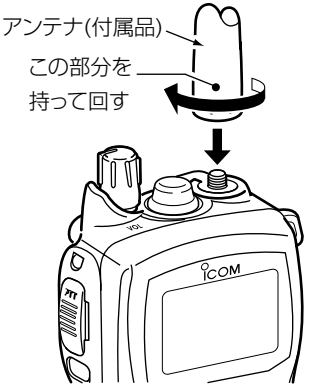
◎充電器を保管するときは、湿気の少ない場所に保管してください。
サビの発生、性能の低下の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。
ケースが変質したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは乾いたやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

■ アンテナの取り付けかた

取り付けるときは、アンテナの根元を持って時計まわりに、手で締まる程度まで回します。
取りはずすときは、アンテナの根元を持って反時計まわりに回します。

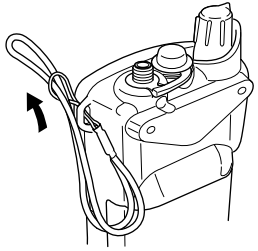
【⚠注意】
➥アンテナを持って本製品を持ち運ばないでください。
➥アンテナを接続しないで送信すると、故障の原因になります。



■ ハンドストラップの取り付けかた

運用時や持ち運び時に、ハンドストラップを手首に通しておくと、落としたりしないで安全です。

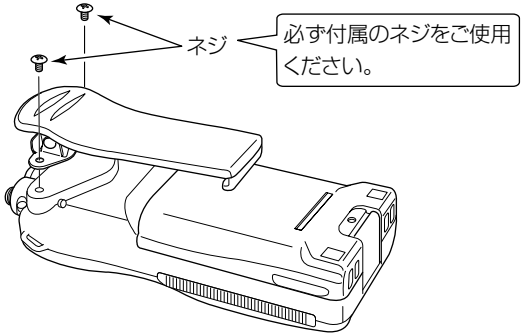
【⚠警告】
アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。



■ ベルトクリップの取り付けかた

付属のネジを使用して、ベルトクリップを本製品に取り付けます。

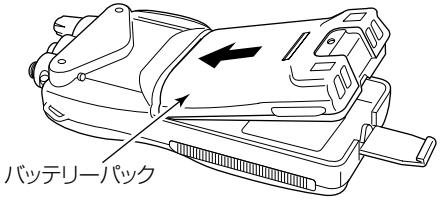
➥取り付けるときは、市販のプラスドライバーをご用意ください。
➥ベルトクリップに付属するネジ以外のものを使用しないでください。



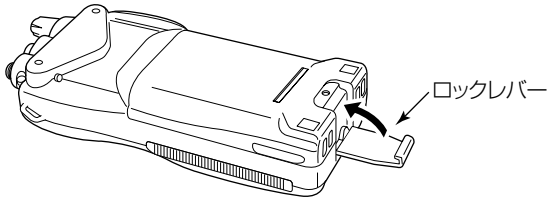
■ バッテリーパックの取り付けかた

⚠警告
本製品やバッテリーパックがぬれたり汚れたりした状態で、取り付けたり、取りはずしたりしないでください。
➥本製品やバッテリーパック、または充電器の各端子がさびるなどして、故障の原因となります。

①バッテリーパックを本体に密着させながら、矢印の方向にスライドさせます。



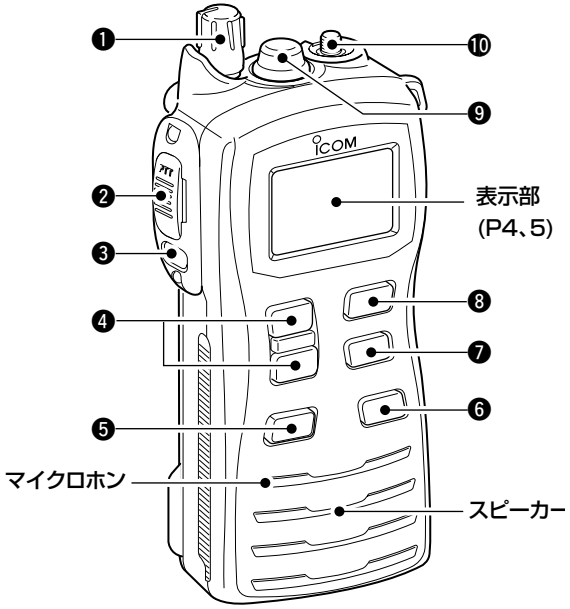
②ロックレバーでしっかりとめてロックします。



ご注意：ロックレバーをはずすときは、十分ご注意ください。ロックレバーは固くロックされているため、指や爪をいためるおそれがあります。コインやマイナスドライバーなど比較的硬くて平らなものを使用して、開けてください。

2 各部の名称と機能

■ 前面/側面パネル



❶音量ツマミ[VOL]
電源をONにして、音量レベルを調整します。(☞P8)

❷PTT(送信)スイッチ[PTT]
押しているあいだは送信状態、はなすと受信状態になります。(☞P8)

❸モニターキー[((●))]
➥[((●))]を押し続けてチャンネルをモニターします。押しているあいだはスケルチを開きます。(☞P9)
➥[((●))]を短く押したあと、[△]/[▽]でスケルチレベルを調整します。(☞P9)
➥[((●))]を押しながら電源をONにすると、セットモードに入ります。(☞P16)

❹アップ/ダウンキー[△]/[▽]
➥運用チャンネルを選択します。(☞P6、7)
➥セットモードで、表示している項目の設定を選択します。(☞P16～21)
➥[((●))]を押しながら、[△]/[▽]でセットモードの項目を選択します。(☞P16)
➥スキャン動作中に、スキャンの方向を変更したり、タグを設定しているチャンネルを順番に表示したりします。(☞P14)

❺チャンネル16キー[16•9]
➥キーを短く押すと、チャンネル16を選択します。(☞P6)
➥キーを長く(約1秒)押すと、コールチャンネルを選択します。
➥コールチャンネル選択時、約3秒間押すと、コールチャンネルの設定状態になります。(☞P6)

❻送信出力/ロックキー[H/L•Lock]
➥キーを短く押すごとに、送信出力(High/Middle/Low)を切り替えます。(☞P8)
➥キーを長く(約1秒)押すごとに、ロック機能をON/OFFします。(☞P10)

❼SCAN(スキャン)/DUAL(デュアル)キー [SCAN•DUAL]

➥キーを短く押すと、ノーマルスキャンまたはプライオリティースキャンをスタートします。(☞P14)

● もう一度短く押すと、機能を解除します。(☞P14)

➥キーを長く(約1秒)押すと、デュアルワッチまたはトライワッチをスタートします。(☞P15)

❽チャンネル/ウェザーチャンネルキー [CH/WX•U/I/C]

➥キーを短く押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。

➥チャンネル16、またはコールチャンネルを使用したあとにこのキーを短く押すと、もとのチャンネルに戻ります。(☞P14)

❾スピーカーマイクロホンコネクター [SP MIC]

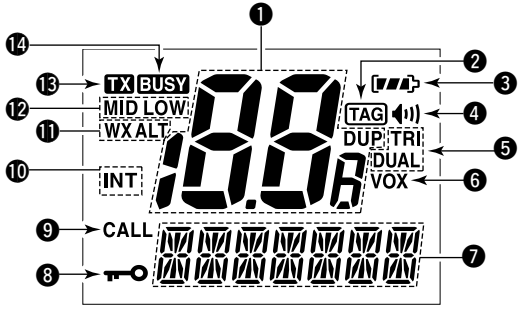
別売品の外部スピーカーマイクロホン、または別売品のヘッドセット用アダプターケーブルを取り付けるコネクターです。(☞P27)

ご注意 : スピーカーマイクロホン(ヘッドセット)を取り付けないときは、ホコリや水の侵入を防ぐため、[SP MIC] キャップを装着しておいてください。

❿アンテナコネクター

付属のアンテナを接続するコネクターです。(☞P1)

■ 表示部



❶チャンネル番号表示部

➥ 選択された運用チャンネル番号を表示します。(☞P8)

➥ セットモードで選択された状態を表示します。(☞P16～21)

● デュプレックスチャンネルを選択したときは、「DUP」表示が点灯します。

❷タグチャンネル表示部(☞P14)

タグチャンネルを選択しているときに点灯します。

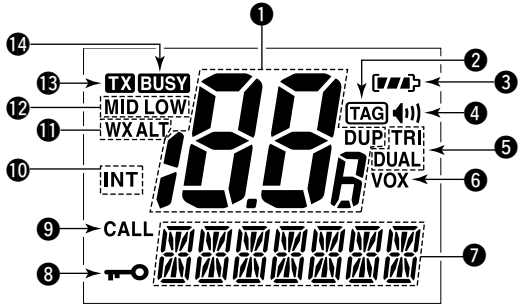
❸電池残量表示部

電池の残量を4段階で表示(点灯)します。

表示	[▮▮▮]	[▮▮]	[▮]	[ ]
バッテリーパックの状態	十分	残量あり	残量少	残量なし

[▮▮▮] 過充電時には点滅します。

■表示部（つづき）



❹モニター表示部（☞P10）
モニター機能が動作しているあいだ、点灯します。

❺デュアルワッチ/トライワッチ表示部（☞P15）
➥ デュアルワッチ中、「DUAL」を点灯します。
➥ トライワッチ中、「TRI」を点灯します。

❻VOX表示部（☞P10）
VOX機能が動作しているあいだ、点灯します。

❼チャンネルネーム表示部
運用中のチャンネルネーム、コメントを表示しスクロールします。（☞P12、20）
セットモード中では、選択している項目を表示しスクロールします。（☞P16）

❽ロック表示部（☞P10）
ロック機能が動作しているあいだ、点灯します。

❾コールチャンネル表示部（☞P6）
コールチャンネルを選択しているときに点灯します。

❿チャンネルグループ表示部（☞P7）
国際チャンネルグループ選択時に点灯します。

⓫ウェザーチャンネル/ウェザーアラート表示部
➥ ウェザーチャンネルグループ選択時、「WX」を点灯します。（☞P7）
➥ ウェザーアラート機能動作中、[WX ALT]を点灯します。
● 気象警報トーンを受信すると点滅します。（☞P17）

⓬送信出力レベル表示部（☞P8）
➥ Lowパワー設定を選択していると、「LOW」を点灯します。
➥ Middleパワー設定を選択していると、「MID」を点灯します。
➥ Highパワー設定を選択している場合は、点灯しません。

⓭送信中表示部（☞P8）
送信中に点灯します。

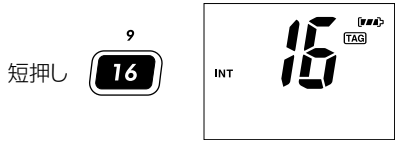
⓮受信中表示部
➥ 信号を受信しているとき、またスケルチが開いているときに点灯します。（☞P8）

■ チャンネルの選択

◇ チャンネル 16

チャンネル16は、遭難および安全信号チャンネルです。
このチャンネルは、ほかの局との初期通信を確立するため、また緊急連絡に使用します。そのため、待ち受け中もモニターする必要があります。
チャンネル16は、デュアルワッチおよびトライワッチの対象で、動作時にモニターされます。

➥ **[16•9]**を短く押すと、チャンネル16になります。
➥ **[CH/WX•U/I/C]**を短く押して、チャンネル16を選択する前の状態へ戻る、または[△]/[▽]を押して、運用チャンネルを選択します。

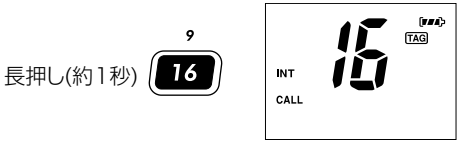


◇ コールチャンネル

チャンネル16とは別に、頻繁に使用する運用チャンネルを簡単に呼び出せるコールチャンネルを設定できます。
このコールチャンネルは、トライワッチの対象となります。
出荷時はチャンネル16を設定していますが、お好みのチャンネルに変更できます。**(☞P9)**

➥ **[16•9]**を長く(約1秒)押すと、コールチャンネルを選択します。
- 「**CALL**」表示が点灯し、コールチャンネル番号を表示します。

➥ **[CH/WX•U/I/C]**を押して、コールチャンネルを選択する前の状態へ戻すか、または**[△]/[▽]**を押して、運用チャンネルを選択します。



◇ 国際チャンネル

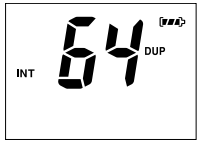
本機で使用できる国際チャンネル数は57チャンネルです。

①[CH/WX•U/I/C]を短く押すごとに、ウェザーチャンネルと国際チャンネルグループを切り替えます。

- 国際チャンネルグループ選択時、「**INT**」表示が点灯します。
- ウェザーチャンネル選択時、「**WX**」表示が点灯します。
- ウェザーアラート機能ON時、「**WX ALT**」表示が点灯します。(☞P17)

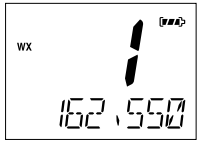
②[△]/[▽]を押して、チャンネルを選択します。

- デュプレックスチャンネルを選択したときは、「**DUP**」表示が点灯します。



国際チャンネル(通常画面)

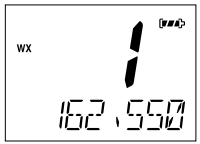
U/I/C
CH/WX 短押し



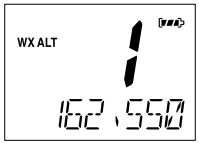
ウェザーチャンネル

◇ ウェザーチャンネル

米国およびカナダにおいて、NOAA（米国海洋大気庁）放送からのウェザーチャンネルを受信するために使用します。
ウェザーアラート機能ON時は、選択したウェザーチャンネルで気象警報放送がはじまると、自動的にウェザーチャンネルに切り替わるため、別のチャンネルで待ち受け中やスキャン中でも重要な気象警報を聞き逃すことを防止できます。
※日本の海域および近海では受信できません。



ウェザーアラート機能OFF時



ウェザーアラート機能ON時

■ 受信と送信

① **[VOL]**を時計回りに回して、電源をONにします。
- オープニングコメントがスクロールします。**(☞P12)**

② 音量レベルとスケルチレベルを調整します。
- **[(ıı)▶]**を押してスケルチ調整モードに入り、[▽]を数回押してスケルチを開きます。**(☞P9)**
- **[VOL]**を回して音量を調整します。
- **[(ıı)▶]**を押してスケルチ調整モードにもう一度入り、ノイズが消えるまで[△]を押します。
- [(ıı)▶]を短く押すと、スケルチ調整モードを終えます。

③ **[△]/[▽]**を押して、運用するチャンネルを選択します。
- 信号を受信すると、**BUSY** 表示が点灯し、スピーカーから音声が聞こえます。
- 必要に応じて、もう一度音量を調整します。

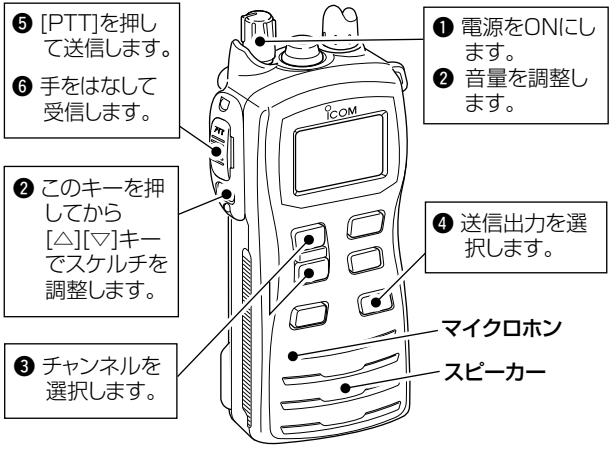
④ **[H/L• LOCK]**を短く押して、送信出力を切り替えます。
- Lowパワー選択時に「**LOW**」、Middleパワー選択時に「**MID**」が点灯します。Highパワー選択時は、点灯しません。
- 近距離通信時や節電する場合にはLowパワーやMiddleパワーを、長距離通信の場合にはHighパワーを選択します。
- Lowパワーしか使えないチャンネルがあります。

⑤ **[PTT]**を押しながら、マイクロホンに向かって話します。
- 送信状態になり、「**TX**」が点灯します。
- チャンネル70では送信できません。

⑥ **[PTT]**をはなすと、受信状態に戻ります。

<タイムアウトタイマー機能>

送信の連続時間を制限するタイムアウトタイマー機能を搭載しています。送信時間を監視し、5分間連続して送信状態が続いた場合、タイムアウト機能が動作し、強制的に送信を停止します。



【⚠警告】

本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信しないでください。

マイクロホンに向かって話すときは

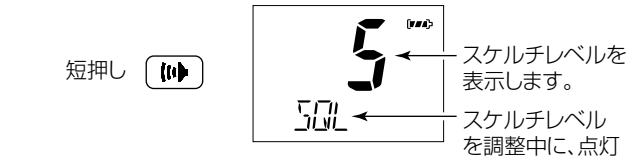
マイク部と口元は5cmぐらいはなし、普通の大きさの声で話してください。近づけすぎたり、大きな声で話すとかえってめいりょう度が悪くなりますのでご注意ください。

■ スケルチレベル調整

スケルチレベルは[△]/[▽]を使って調整できます。
信号を正しく受信したり、スキャンを効率よく動作させたりするために、スケルチを適切なレベルに調整しておく必要があります。

① **[((▮))]**を短く押して、スケルチ調整モードに入り、[△]/[▽]でスケルチレベルを調整します。
- **[SQL]**表示とスケルチレベルが点灯します。
- スケルチレベルは11段階あります。
- 数値が大きいほどスケルチは開きにくく、数値が小さいほどスケルチが開きやすくなります。
- 「OP」はスケルチが完全に開いている状態を示し、スケルチレベルの数値が小さいほど、弱い信号でも受信できます。

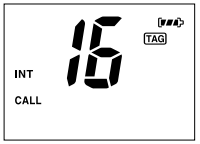
②もう一度**[((▮))]**を短く押すと、スケルチ調整モードを終えます。



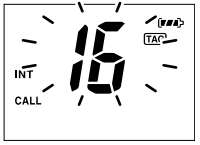
■ コールチャンネルの設定

出荷時、コールチャンネルは、チャンネル16に設定されています。すばやくコールができるように、よく使用するチャンネルをコールチャンネルに設定します。

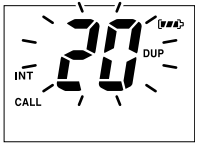
①ウェザーチャンネルを選択している場合は、**[CH/WX•U/I/C]**を短く押して、国際チャンネルを選択します。**(☞P7)**



②**[16•9]**を長く(約1秒)押すと、国際チャンネルのコールチャンネルを表示します。
- **[CALL]**表示が点灯し、コールチャンネル番号が表示されます。

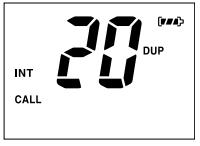


③コールチャンネルを選択している状態で、**[16•9]**を長く(ピー、ピピッと鳴るまで)押すと、コールチャンネルの設定モードに入ります。
- チャンネル番号表示部が点滅します。



④[△]/[▽]を押して、使用するチャンネルを選択します。

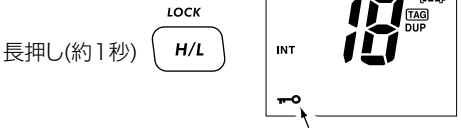
⑤**[16•9]**を短く押すと、選択したチャンネルをコールチャンネルとして設定します。
- チャンネル番号表示部の点滅が停止します。



■ ロック機能

不用意にキーを押しても、運用チャンネルなどの運用状態が変わらないように、キー操作を無効にする機能です。ただしロック機能がONのときでも、[PTT]、[((•))]および[H/L•LOCK]は操作できます。

[H/L•LOCK]を長く(約1秒)押すごとに、ロック機能をON/OFFします。

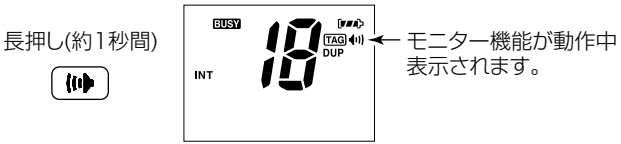


ロック機能が動作中、表示されます。

■ モニター機能

通話中に相手局の信号が弱く、音声が途切れたり、聞こえにくかったりする場合、スケルチを強制的に開いて、聞き取りやすくする機能です。セットモードでモニターキーの動作を設定します。

[((•))]を長く(約1秒)押すと、モニター機能が動作します。
● BUSY と[((•))]表示が点灯し、ビープ音が鳴ります。



■ 自動バックライト機能

表示部やキーのバックライトを点灯する機能です。夜間の使用に便利です。

- 自動バックライト機能はセットモードで設定します。(☞P19)
- [PTT]以外のキーを押すと、バックライトが点灯します。
- キーを操作しない状態が約5秒続くと、バックライトは自動的に消灯します。

■ VOX機能

ご注意
VOX機能をご使用になるには、別売品のヘッドセットとアダプターケーブルが必要です。(☞P28)

VOX機能とは、[PTT]を押さなくてもヘッドセットのマイクロホンからの音声によって、送受信を自動的に切り替える機能です。通話をやめると受信に切り替わります。

① ヘッドセットを接続したアダプターケーブルを[SP MIC]コネクターに接続します。
② [((•))]を押しながら[H/L•LOCK]を押すごとに、VOX機能をON/OFFします。

- VOXゲイン、VOXディレイはセットモードで設定できます。(☞P21)
- スキャン中や、デュアルワッチまたはトライワッチ中、および送信禁止チャンネルでは、VOX機能を運用できません。

■ アクアクェイク機能

スピーカー部分に溜まった水をスピーカーの振動により排出する機能です。スピーカー部分の浸水による音のこもりや音量の低下を解消することができます。

➥[16•9]と[H/L•LOCK]を同時に長く押します。

- 音量の設定レベルに関わらず、排水のため低いビープ音が最大音量で約9秒間鳴り続けます。
- アクアクェイク機能動作中は、ほかのキー操作が無効となります。
- 別売品のスピーカーマイクロホンやヘッドセット用アダプターケーブルを接続しているときは、アクアクェイク機能は動作しません。

■ チャンネルネーム/オープニングコメント設定

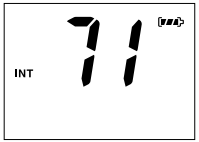
➥チャンネルネーム設定では、運用チャンネル（ウェザーチャンネルを含む）ごとに、最大10文字までのチャンネルネームを登録できます。
チャンネルネームを登録しておくと、相手局を簡単に特定したりチャンネルの用途を一目で判断できます。

➥オープニングコメントは、お好みの内容に変更できます。
最大16文字まで設定可能で、電源ON時に表示されます。

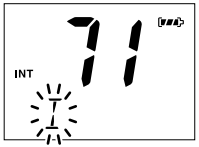
(=)	(*)	(+)	(–)	(,)	(/)	(0)	(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(Space)	(A)	(B)	(C)
(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)
(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)
(X)	(Y)	(Z)	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)
(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)	(n)	(o)	(p)	(q)
(r)	(s)	(t)	(u)	(v)	(w)	(x)	(y)	(z)	

◇ チャンネルネームの設定のしかた

① [△]/[▽]を押して、ネームを付けるチャンネルを選択します。
- ウェザーチャンネルを選択している場合は、[CH/WX•U/I/C]を短く押して、国際チャンネルを選択します。(☞P7)

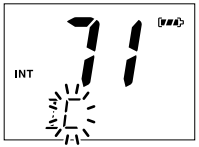


② [((•))]を押しながら、[CH/WX•U/I/C]を押します。
- 入力中の文字が点滅します。



③ [△]/[▽]を押して、文字を選択します。

④ [H/L•LOCK]を押すとカーソルが右に移動します。
[△]/[▽]を押して、文字を選択します。
- [16•9]を押すと左に移動します。



⑤④の操作を繰り返してチャンネルネームを最後まで入力します。
- 入力を終えたら、[CH/WX•U/I/C]を押して変更した内容を保存し、操作前の状態に戻ります。

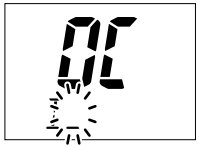
◇ オープニングコメントの設定のしかた

① 電源をOFFにします。

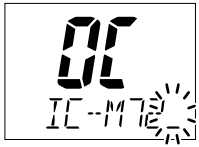
② [SCAN•DUAL]を押しながら、電源をONにします。
- 「OC」が表示され、現在設定されているコメントの1文字目が点滅します。

③ [△]/[▽]を押して、文字を選択します。

④ [H/L•LOCK]を押すとカーソルが右に移動します。
[△]/[▽]を押して文字を選択します。
- [16•9]を押すと左に移動します。



⑤④の操作を繰り返してオープニングコメントを最後まで入力します。
- 入力を終えたら、[CH/WX•U/I/C]を押して変更した内容を保存し、通常画面に戻ります。



➥ 本機を電源ONにすると、オープニングコメントを表示またはスクロールします。

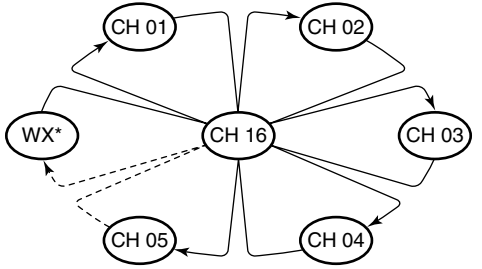
➥ オープニングコメントをスキップしたい場合は、[16•9]を押します。

4 スキャン操作のしかた

■ スキャンについて

スキャンとは、広範囲にわたってチャンネルを自動で切り替え、信号の出ているチャンネルを探し出す機能です。
本機には、プライオリティースキャンとノーマルスキャンがあります。
また、待ち受け状態で便利なウェザーアラート機能やオートスキャン機能も使用できます。
これらの機能はセットモードの設定により、同時に運用できます。**(☞P17、18)**

プライオリティースキャン

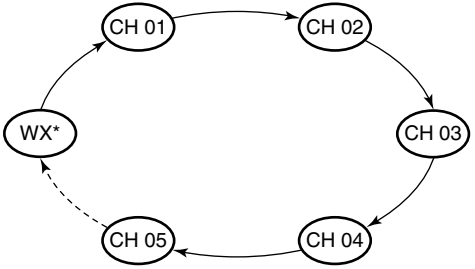


*ウェザーアラート機能動作時、先に選択していたウェザーチャンネル

プライオリティースキャンは、チャンネル16をモニターしながら、すべてのタグチャンネルを順にスキャンしていきます。
チャンネル16で信号を検出すると、信号が消えるまでスキャンを一時停止します。
チャンネル16以外のチャンネルで信号が検出されると、その信号が消えるまでスキャンはデュアルワッチになります。

スキャンする前に、タグ(スキャン対象)チャンネルを設定をする必要があります。
デジタル通信など、頻繁に電波が発射されていて、スキャンを停止させる原因となるチャンネルは、タグ(スキャン対象)を解除します。**(☞P14)**
また、スキャンモード(ノーマルスキャンまたはプライオリティースキャン)をセットモードで選択します。**(☞P17)**

ノーマルスキャン



*ウェザーアラート機能動作時、先に選択していたウェザーチャンネル

ノーマルスキャンは、プライオリティースキャンと同様、すべてのタグチャンネルを順にスキャンします。ただし、プライオリティースキャンと異なりチャンネル16をタグチャンネルに設定しないと、チャンネル16がスキャンされないため、ご注意ください。

■ タグチャンネルの設定/解除

本機のスキャン機能は、タグを設定したチャンネルだけをスキャンして、その他のチャンネルはスキップします。
スキャンに必要のないチャンネルのタグ設定を解除することで、スキャンの対象からはずすことができます。
*出荷時、すべてのチャンネルにタグが設定されています。

①ウェザーチャンネルを選択している場合は、**[CH/WX•U/I/C]**を短く押して、国際チャンネルを選択します。
②スキャンの対象(タグチャンネル)からはずすチャンネルを選択します。
③**[△]/[▽]**を同時に長く(約1秒間)押して、タグ設定をON/OFFします。
- スキャンの対象に設定した場合、「**TAG**」表示が点灯します。
- スキャンの対象からはずした場合、「**TAG**」表示が消灯します。

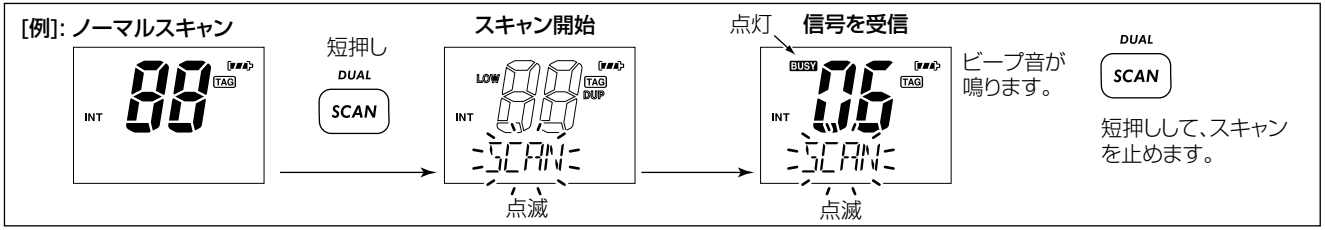
<ご参考:タグチャンネルの一括解除>
[△]と**[▽]**を同時に押しながら電源をONにすると、チャンネルグループ内のタグ設定をされている全チャンネルで、タグ設定を一括解除します。

■ スキャン操作のしかた

セットモードであらかじめウェザーアラート機能、プライオリティースキャン機能、スキャン再スタートタイマー機能、オートスキャン機能を設定しておきます。**(☞P17, 18)**

①**[SCAN•DUAL]**を短く押して、プライオリティースキャンまたはノーマルスキャンをスタートします。
- 「**SCAN**」表示が点滅します。
- プライオリティースキャン中は、チャンネルネーム表示部に「**16**」が表示されます。
- 信号を検出すると、スキャン再スタートタイマーの設定により、その信号が消えるまでスキャンを一時停止、または5秒間の停止後、再スタートします。
- **[△]/[▽]**を押して、タグチャンネルの確認、スキャン方向の変更、スキャンの再スタートをすることができます。

②スキャンを解除するには、**[SCAN•DUAL]**を押します。
- 「**SCAN**」表示が消灯します。
- **[PTT]**、**[16•9]**、**[CH/WX•U/I/C]**のいずれかを押しても、スキャンを解除します。



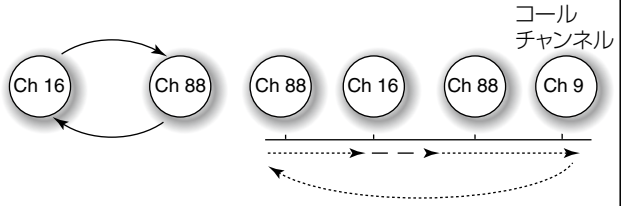
5 デュアルワッチ/トライワッチについて

■ 概要

デュアルワッチは、チャンネル16以外のチャンネルを受信しながら、チャンネル16をモニターします。
トライワッチは、別のチャンネルを受信しながら、チャンネル16とコールチャンネルをモニターします。

デュアルワッチ/トライワッチの動作例

※例は、コールチャンネルをチャンネル9にした場合です。

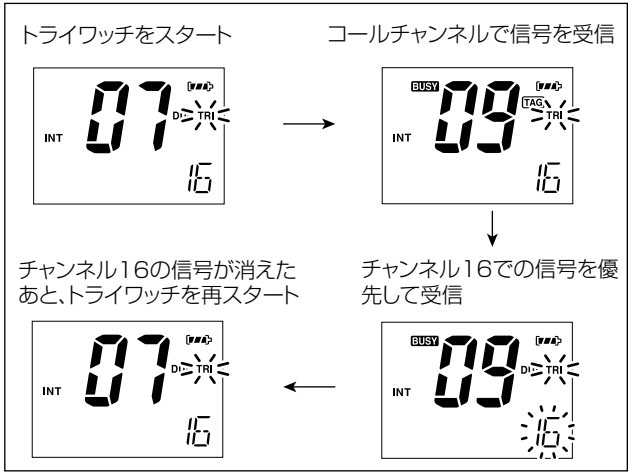


➥ チャンネル16で信号を受信した場合、その信号がなくなるまでチャンネル16でデュアルワッチ/トライワッチは、一時停止します。
➥ トライワッチ中にコールチャンネルで信号を受信した場合、その信号が消えるまでトライワッチは、チャンネル16とコールチャンネルとのデュアルワッチになります。
➥ デュアルワッチ(トライワッチ)中に選択したチャンネルで使って送信するとき、[PTT]を押します。

■ 操作

① セットモードでデュアルワッチまたはトライワッチを選択します。
② チャンネルを選択します。
③ **[SCAN•DUAL]**を長く(約1秒)押すと、デュアルワッチまたはトライワッチを開始します。
- デュアルワッチ中は**「DUAL」**表示、トライワッチ中**「TRI」**表示が点滅します。
- チャンネル16で信号を受信したときは、ビープ音が鳴ります。
- コールチャンネルで信号を受信したときは、トライワッチがデュアルワッチに変わります。

④ デュアルワッチ(トライワッチ)を解除するには、もう一度**[SCAN•DUAL]**を押します。



■ セットモード

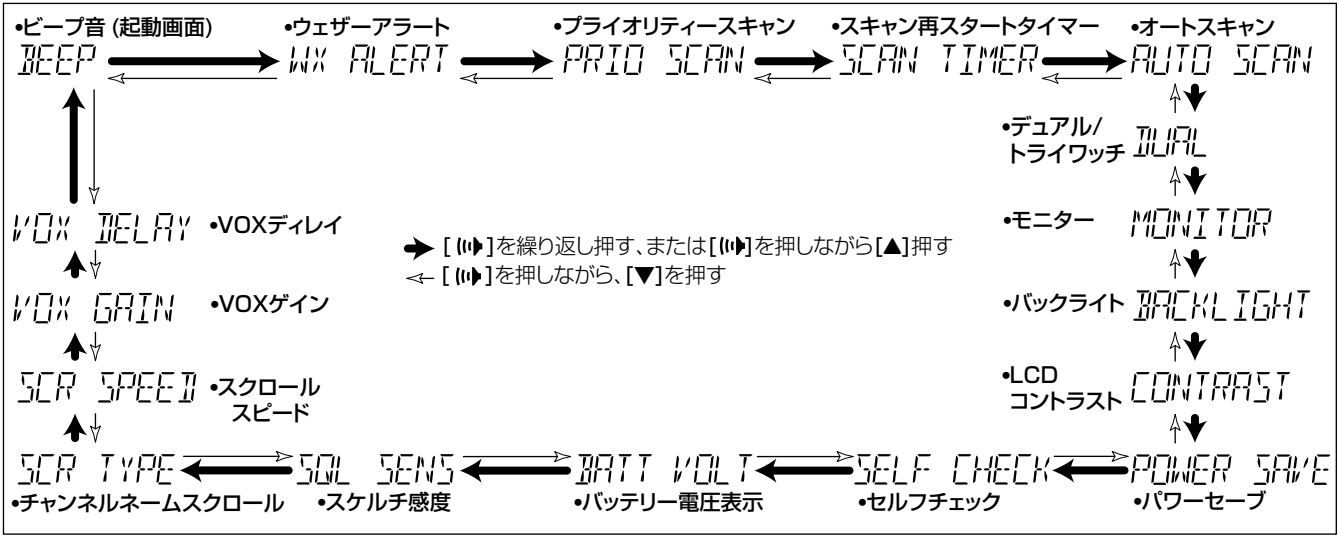
セットモードでは、本機の諸機能の状態を設定します。

諸機能一覧：ビープ音、ウェザーアラート、プライオリティースキャン、スキャン再スタートタイマー、オートスキャン、デュアルワッチ/トライワッチ、モニター、バックライト、LCDコントラスト、パワーセーブ、セルフチェック、バッテリー電圧表示、スケルチ感度、チャンネルネームスクロール、スクロールスピード、VOXゲイン、VOXディレイ

◇ セットモードの操作

① 電源をOFFにします。
② セットモードに入ります。
➥[(((•]を押しながら、電源をONにします。
セットモードに入ると、「BEEP」表示が点灯します。
③ 設定項目を選択します。
➥[(((•]を繰り返し押すか、[(((•]を押しながら[△]/[▽]を押して、設定する項目を選択します。
④ 設定値を選択します。
➥[△]/[▽]を押して、セットモードで項目を選択します。
⑤ [16•9]を押して、セットモードを終えます。

◇ セットモード設定項目

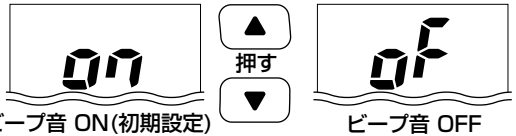


■ セットモードの機能項目

◇ ビープ音機能 BEEP

キーを押したときに鳴る操作音を選択します。

- oF：ビープ音は鳴りません。
- on：ビープ音が鳴ります。
- US：プリセットビープ音が鳴ります。



ビープ音 ON(初期設定)　　ビープ音 OFF

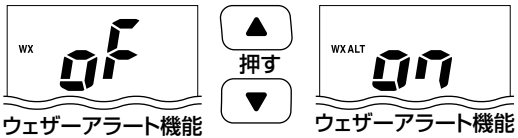
◇ ウェザーアラート機能 WX ALERT

ウェザーアラート機能は、気象警報トーンを検出する機能です。

NOAA放送局は、重要な気象情報を流す前に、気象警報トーンを送信します。

待機中、パワーセーブ機能動作中またはスキャン中は随時、先に選択されたウェザーチャンネルを調べます。

- 本機は警報を検出すると、本機を操作するまで「ALT」表示を点滅させ、ビープ音を出力します。



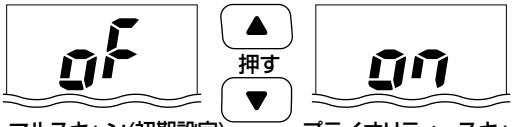
ウェザーアラート機能 OFF (初期設定)　　ウェザーアラート機能 ON

◇ プライオリティースキャン機能 PRIO SCAN

プライオリティースキャン機能はチャンネル16をモニターしながら、すべてのタグチャンネルをスキャンする機能です。

➥ノーマルスキャンは、選択したチャンネルグループ内のすべてのタグチャンネルをスキャンします。

- oF：ノーマルスキャンを選択します。
- on：プライオリティースキャンを選択します。

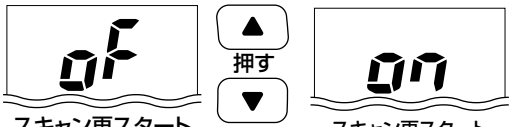


ノーマルスキャン(初期設定)　　プライオリティースキャン

◇ スキャン再スタートタイマー機能 SCAN TIMER

スキャン再スタートの条件(タイマー)を設定します。

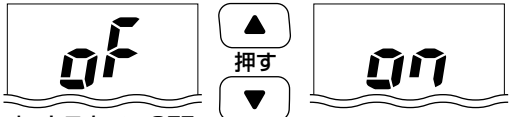
- oF：受信した信号が消えるまでスキャンを一時停止し、信号が消えると、再スタートします。
- on：チャンネル16以外のチャンネルで信号を受信すると、約5秒停止し信号の有無に関わらずスキャンを再スタートします。



スキャン再スタート タイマー OFF (初期設定)　　スキャン再スタート タイマー ON

◇ オートスキャン機能 AUTO SCAN

オートスキャン機能は自動的にスキャンをスタートする機能です。
無信号状態でキー操作が30秒以上ない場合に、自動的にスキャンをスタートします。

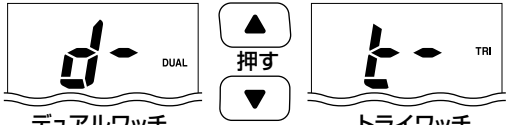


オートスキャン OFF
(初期設定)

オートスキャン ON

◇ デュアルワッチ / トライワッチ機能 DUAL

デュアルワッチ、またはトライワッチ機能を選択します。
初期設定はデュアルワッチ機能です。(☞P15)



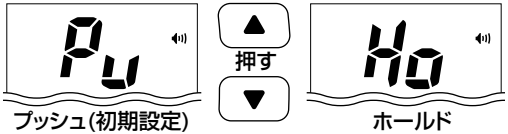
デュアルワッチ
(初期設定)

トライワッチ

◇ モニター機能の設定 MONITOR

モニター機能は、受信時に相手の音声が途切れるとき、スケルチを瞬時に開けて、聞こえやすくする機能です。
[((•))]を押し続けているあいだモニター機能を動作させるか、押すごとにモニター機能をON/OFFさせるかを設定します。

- Pu(PUSH) : **[((•))]**を長く(約1秒)押します。
  - この設定では、**[((•))]**を押し続けているあいだのみ、モニター機能が動作します。
- Ho(HOLD) : **[((•))]**を長く(約1秒)押すと、モニター機能が動作します。(**[((•))]**キーを押し続けている必要はありません。)
  - モニター機能を解除するには、**[PTT]**以外のキーを押します。



プッシュ(初期設定)

ホールド

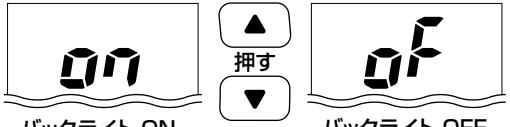
6 セットモード

◇ 自動バックライト機能 BACKLIGHT

キー操作時、表示部やテンキーの自動バックライト点灯の有無を設定します。夜間や暗い場所での使用に便利です。

[PTT]を除くキー操作をしたとき、自動で点灯します。

➥ 約5秒間キー操作がない状態がつづくと、消灯します。



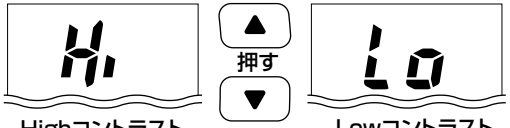
バックライト ON（初期設定）　　バックライト OFF

◇ LCDコントラスト CONTRAST

LCDのコントラストをHighまたはLowに設定します。

屋外でご使用になる場合、周囲の明るさに応じて設定すると、表示部が見やすくなります。

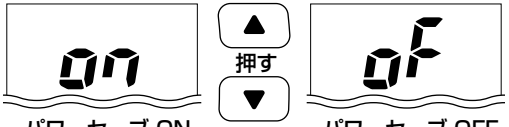
- Hi：初期設定では、Hiになっています。
- Lo：Hi設定よりコントラストが弱まります。



Highコントラスト（初期設定）　　Lowコントラスト

◇ パワーセーブ機能 POWER SAVE

パワーセーブ機能は待ち受け状態で一定時間本機を操作しないあいだ、自動的に休止状態にして消費電流を少なくする機能です。無信号状態で5秒以上キー操作がないとき、パワーセーブ機能が動作します。

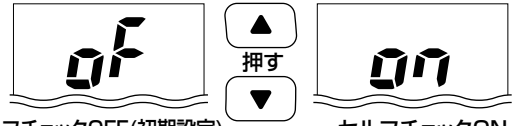


パワーセーブ ON（初期設定）　　パワーセーブ OFF

◇ セルフチェック機能 SELF CHECK

セルフチェック機能は、無線機に何らかの問題を検出した場合に通知する機能です。

電源をONにすると、瞬時に下記の項目についてチェックします。問題がないときは、通常画面を表示します。



セルフチェックOFF（初期設定）　　セルフチェックON

装着したバッテリーパックの電圧が規定範囲外のとき

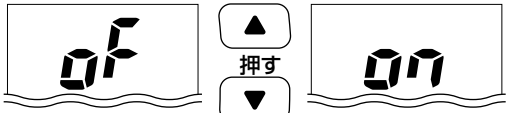
規定範囲外の温度*のとき

*(−35℃以下、+73℃以上)

無線機に水が浸水しているとき

◇ バッテリー電圧表示 BATT VOLT

電源ON時、バッテリーパックの電圧残量を約2秒間表示します。

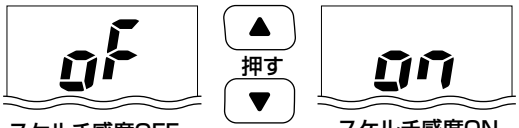


バッテリー電圧表示
OFF(初期設定)

バッテリー電圧表示
ON

◇ スケルチ感度 SQL SENS

スケルチ感度をONすると、スケルチが開きにくくなり、ある程度の強い電波だけを受信します。
スケルチレベルの値をより大きくすることで、通話中のノイズによる影響を軽減します。



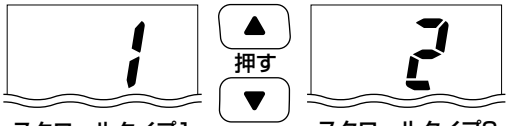
スケルチ感度OFF
(初期設定)

スケルチ感度ON

◇ チャンネルネームスクロール設定 SCR TYPE

チャンネルネームがスクロールする方法を設定します。

- 1：最初に、7文字全体が表示部に約1秒間表示されたあと、スクロールします。
  チャンネルネームが7文字、または7文字に満たない場合はスクロールしません。
- 2：文字数に関係なくスクロールして表示します。



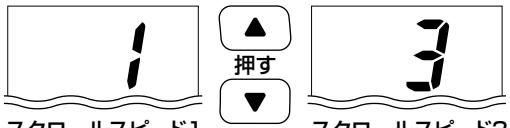
スクロールタイプ1
(初期設定)

スクロールタイプ2

◇ スクロールスピード設定 SCR SPEED

スクロールするときのスクロール速度を設定します。
＊1秒間に表示される文字数を目安にスピードを決めています。

- 1：1秒に約3.33文字の速度でスクロールします。
- 2：1秒に約2.5文字の速度でスクロールします。
- 3：1秒に約2文字の速度でスクロールします。



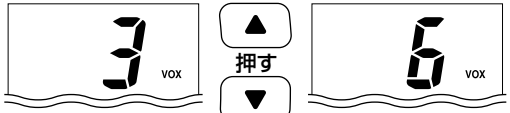
スクロールスピード1
(初期設定)

スクロールスピード3

◇ VOXゲイン *VOX GAIN*

VOXゲインは、送信状態にするために必要な声の大きさを1(高感度)から6(低感度)の範囲で設定します。

- ➥ 数値が小さいと、小さな声でも送信に切り替わりますが、周囲の雑音でも送信しやすくなります。(高感度にすると、音声以外の雑音でも送信しますのでご注意下さい。)
- ➥ 数値が大きいと、大きな声で話さないと送信しませんが、周囲の雑音では送信しにくくなります。
- ➥ ヘッドセット(別売品)(☞P28)に向かって普通に話す大きさの声で話しながら、会話の途中で受信状態に切り替わらないように調整します。

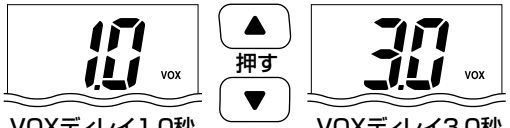


VOXゲインレベル3
(初期設定)

VOXゲインレベル6

◇ VOXディレイ *VOX DELAY*

VOXディレイは、送信状態から受信状態に切り替わるまでの復帰時間(0.5～3.0秒、0.5秒間隔)を設定する機能です。



VOXディレイ1.0秒
(初期設定)

VOXディレイ3.0秒

■ 安全な充電のために

⚠危険

◎**充電するときは、必ず本製品の付属品、または次ページに記載の充電器をご使用ください。**
◎**指定(BP-269)以外のバッテリーパックは、絶対に充電しないでください。**
◎**「安全上のご注意」(☞Pix ～Pxii)**を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■ 電池の残量表示について

表示部の画像は、バッテリーパック(BP-269)のバッテリー残量を表示します。

表示	[▮▮▮+]	[▮▮]	[▮]	[ ]
バッテリーパックの状態	十分	残量あり	残量少	残量なし

[▮▮▮+] 過充電時には点滅します。

■ バッテリーパック(BP-269)の定格について

◎電池の種類　：リチウムイオン
◎電池の容量　：1500mAh(min)/1600mAh(typ)
◎出力電圧　　：7.4V
◎充電時間　　：8～9時間　(付属品 BC-166)
　　2～2.5時間 (別売品 BC-119N #65)

※バッテリーパックの消耗程度により、実際の充電時間は異なります。
※バッテリーパックは完全防水構造ではありません。
無線機に装着することで、無線機本体の防水性能に適合します。

7 充電について

■ 正しい充電のために

◎お買い上げいただいたときや、約2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

◎バッテリーパックは、継ぎ足し充電ができますので、常に満充電にしてご使用ください。
なお、満充電した直後に再充電しないでください。

◎満充電、または完全に使い切った状態で長期間放置すると、バッテリーパックの寿命が短くなるおそれがあります。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、残量表示が「残量あり」の状態になるまで使用し、無線機からバッテリーパックを取りはずして保管してください。

<バッテリーパックの保管温度範囲>
約1ヵ月　：−20 ～+50℃
約3ヵ月　：−20 ～+35℃
約1年　　：−20 ～+20℃

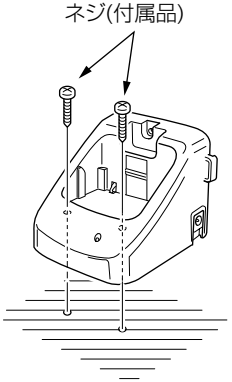
◎極端に高温、または低温の環境下や、バッテリーパックと充電器の温度差が大きい場合、充電できないことがあります。
BC-166(付属品：卓上充電器)　　：0～45℃
BC-119N #65(別売品：卓上急速充電器)　　：10～40℃

◎バッテリーパックは消耗品ですから、充電を繰り返すと運用時間が少しずつ短くなります。
運用時間が極端に短くなったときは寿命ですので、新しいバッテリーパック(補修用)をご購入ください。

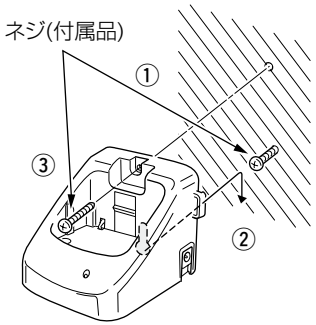
◎充電口や充電端子各部にゴミやホコリが付着すると、正常に充電できないことがあります。定期的に乾いた布などでお手入れをしてください。

■ 充電器の取り付けかた(付属品：BC-166)

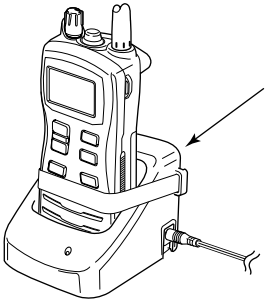
• 卓上に取り付ける場合



• 壁に取り付ける場合



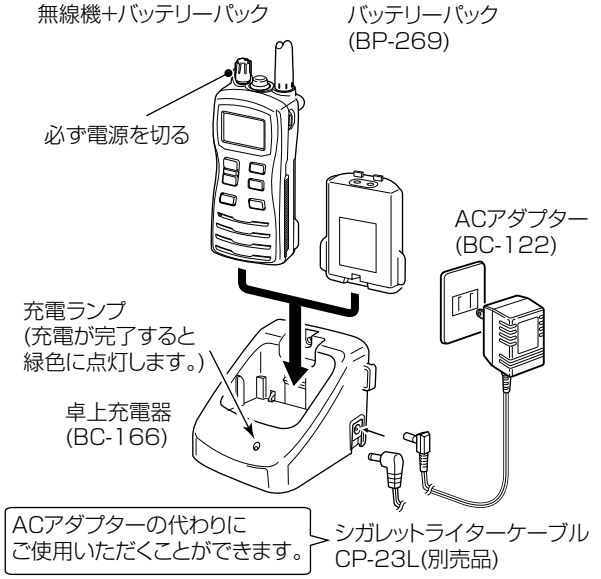
• ご参考に



市販のゴムバンドで固定すると、無線機が充電器からはずれるのを防止できます。

■ 充電のしかた (BP-269/BC-166)

◎バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。(本体に装着した場合は必ず電源をお切りください。電源を切らない場合、充電が完了しません。)
◎充電中、充電ランプは橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
◎充電時間は約11時間です。(バッテリーの消耗程度により異なります。)
◎充電器(BC-166)は、充電タイマー機能により、約14時間経過すると自動的に充電を停止します。

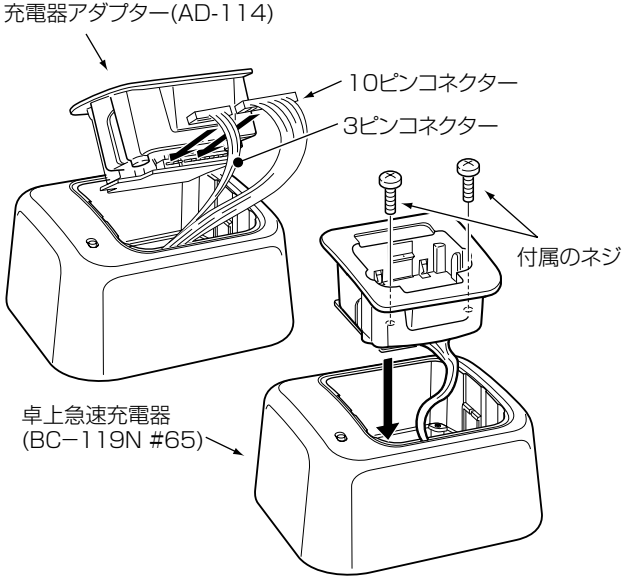


■ 卓上急速充電器(別売品:BC-119N #65+AD-114)

◇ AD-114の取り付けかた

①スロット内部に納められているコネクター(3ピンと10ピンの両方)を充電器アダプターにつなげます。
②スロットに充電器アダプターを差し込みます。
- 線材を充電器アダプターに挟み込まないように注意しながら装着してください。

③付属のネジで充電器アダプターを固定します。



◇ 急速充電のしかた (BC-119N #65+AD-114)

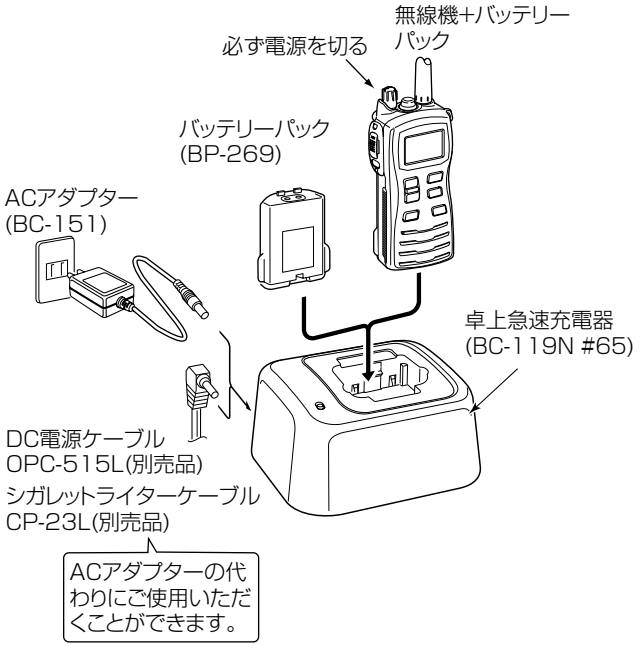
別売品のBC-119N #65(卓上急速充電器)をご使用になると、バッテリーパックの急速充電が可能になります。

- ACアダプター(BC-151)の代わりに、別売品のDC電源ケーブル(OPC-515L)、シガレットライターケーブル(CP-23L)を使用できます。

◎バッテリーパック単体、または無線機に装着した状態で充電できます。(本体に装着した場合は必ず電源をお切りください。電源を切らない場合、充電が完了しません。)

◎充電中、充電ランプは橙色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

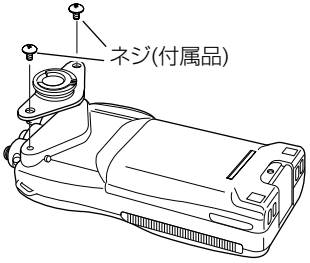
◎バッテリーパックの充電時間は約4時間です。
(充電時間はバッテリーの消耗程度により異なります。)



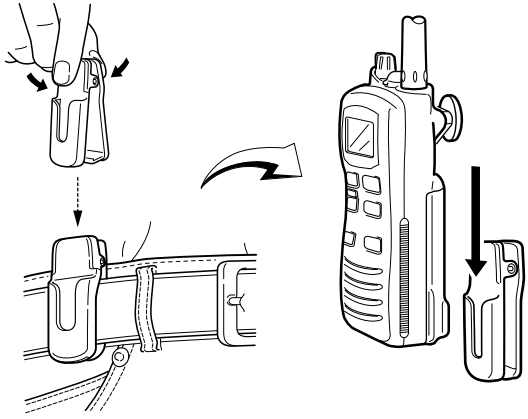
回転式ベルトクリップ(MB-86)について(別売品)

■ 取り付けかた

①無線機の背面にベースを付属のネジ(2本)で取り付けます。(右図参照)



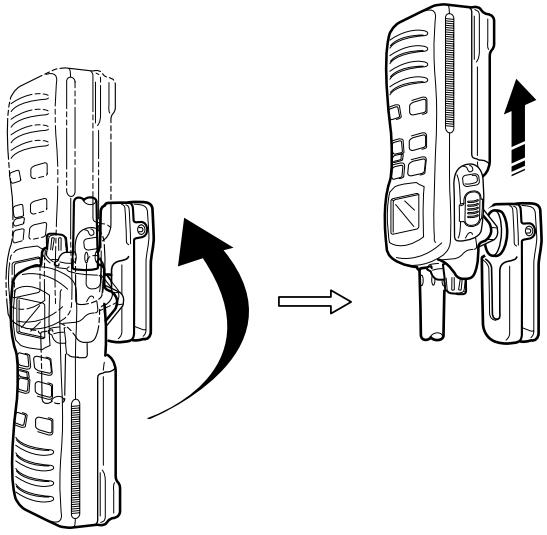
②ベルトクリップでベルトを挟み、無線機を取り付けます。



③無線機が所定の位置におさまると、回転できます。

■ 取りはずしかた

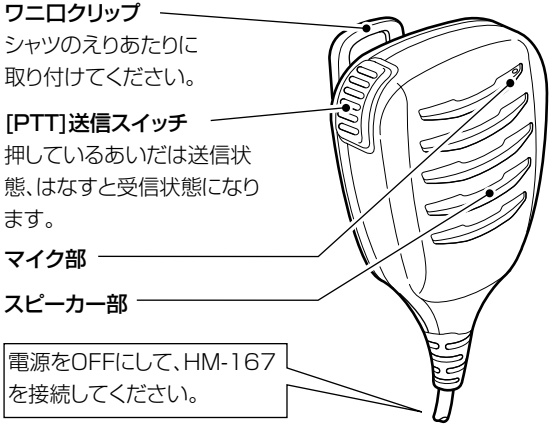
無線機を上下逆さまにして、ベルトクリップから取りはずします。



【⚠注意】
無線機を持ち運んだり、ベルトクリップから取りはずしたりするときは、しっかりと握って落とさないようにしてください。
もし、無線機を落としてベースを破損すると、ベルトクリップに取り付けられなかったり、回転させられなかったりする原因になります。

9 スピーカーマイクロホン(HM-167)について(別売品)

■ HM-167の使いかた



ご注意

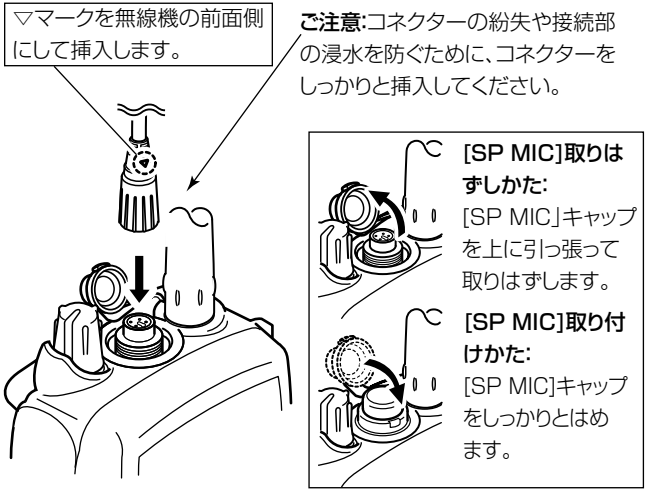
◎ コネクターを濡らさないでください。万一濡れた場合は、しっかり乾かしてから、無線機本体に取り付けてください。

◎ スピーカーマイクロホンをご使用にならないときは、[SP MIC]キャップでフタをして、浸水しないようにしてください。万一浸水すると、端子がさびたり、また無線機が正常に機能しなくなったりするおそれがあります。

■ 取り付けかた

① スピーカーマイクロホンを接続する前に、本機の電源をOFFにします。

② コネクターの▽マークを無線機の前面側にくるようにして接続部[SP MIC]に挿入します。



マイクロホンに向かって話すときは

マイクロホンは本体の上部(頂上部)に内蔵されています。マイク部と口元は5cmぐらいはなし、普通の大きさの声で話してください。

【別売品に関する注意事項】
弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

[★]印のものは、無線機本体に装着することで、JIS保護等級8(水中形)相当の防水性能に適合します。

バッテリー関係

●BP-269★ :リチウムイオンバッテリーパック
(補修用)

充電器

●BC-166 :卓上充電器
(補修用:BC-122が同梱されています。)
●BC-119N #65 :卓上急速充電器
(BC-151、AD-114が同梱されています。)

マイクロホン / ヘッドセット

●HM-167★ :スピーカーマイクロホン
(無線機本体装着時、JIS8水中形相当)
●HS-94 :イヤーフック型ヘッドセット
●HS-95 :ネックアーム型ヘッドセット
●HS-97 :咽喉マイクロホン
●OPC-1392 :アダプターケーブル
(ヘッドセット用:HS-94、HS-95、HS-97)

電源ケーブル

●OPC-515L :DC電源ケーブル
(BC-119N #65用)
●CP-23L :シガレットライターケーブル
(BC-166、BC-119N #65用:CP-23Lの取扱説明書参照)

その他

●MB-103 :ベルトクリップ
(補修用)
●FA-S59V :アンテナ
(補修用)
●MB-86 :回転式ベルトクリップ

11 ご参考に

■ 故障かなと思ったら

下記のような現象は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

現　　象	原　　因	処　　置	参照
電源がONにならない	◎電池の消耗 ◎バッテリーパックの接触不良	●バッテリーパックを充電する ●バッテリーパックを入れなおす	P24、25 P24、25
スピーカーから音が出ない	◎スケルチレベルが大きすぎる ◎音量レベルが小さすぎる ◎スピーカー部分に水がたまっている ◎[SP MIC]接続部に水が入っている	●スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前に設定する ●音量を適切なレベルに設定する ●アクアクェイク機能でスピーカー部分から水を抜く ●[SP MIC]接続部を乾かす	P9 P8 P11 P 27
送信できない、または送信出力のHighパワー(5W)を選択できない	◎受信専用またはLowパワー専用のチャンネルになっている ◎電池の消耗 ◎過充電 ◎送信出力がLowパワー(1W)にセットされている	●チャンネルを変更する ●バッテリーパックを充電する ●バッテリーパックの電圧を確認する ●[H/L]を押してHighを選択する	P7 P22、23 P22、23 P8
表示画面が動かない	◎ロック機能が動作している	●[H/L]を長く(約１秒)押して、ロック機能を解除する	P10
スキャンがスタートしない	◎タグチャンネル(スキャン対象チャンネル)設定がされていない	●タグチャンネル(スキャン対象チャンネル)を2チャンネル以上設定する	P14
ビープ音が鳴らない	◎セットモードでビープ音がOFF設定になっている	●セットモードでビープ音をONにする	P17
セルフチェックエラー(温度)	◎無線機の内部温度が−35℃以下か+73℃以上になっている	●しばらくのあいだ、無線機を常温の室内に置いておく	P19
セルフチェックエラー(電圧)	◎取り付けているバッテリーパックの電圧が11Vを超えている	●バッテリーパックの電圧を確認する	P22
VOX機能動作時、話していないあいだも送信状態がつづく	◎周りのノイズが大きすぎる	●[((•))]と[H/L]を同時に押して、VOX機能を終了させる VOXゲインのマイク感度を下げる	P10
「CHARGE」コメントが点滅する	◎バッテリーパックの消耗	●バッテリーパックを充電する	P24、25

■ 故障のときは

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **修理を依頼されるとき**
「故障かなと思ったら」**(☞P29)**にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール:support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ:http://www.icom.co.jp/

● 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)をご覧ください。

12 定格

■ 一般仕様

国際チャンネル(INT)

- チャンネル数:57ch
- 送信周波数範囲:156.025 ～ 157.425MHz
- 受信周波数範囲:156.300 ～ 162.025MHz

ウェザーチャンネル(WX);受信のみ

- チャンネル数:10ch(ウェザーチャンネル)
- 受信周波数範囲:161.650 ～ 163.275MHz

※ウェザーチャンネルは米国で運用されているサービスのため、日本の海域および近海では受信できません。

- 電波型式:F3E
- 使用温度範囲:−20～+60℃
- 電源電圧:弊社指定のバッテリーパックに限る
- 消費電流(7.5V時):約1.5A(送信時:5W)
  約80mA(待ち受け時)
  約400mA
  (受信最大出力時:内蔵スピーカー)
  約200mA
  (受信最大出力時:外部スピーカー)
  約33mA(パワーセーブ時)
- 接地方式:マイナス接地
- アンテナインピーダンス:50Ω(不平衡)
- 外形寸法:52.5(W)×125(H)×30(D)mm
  ※突起物を除く。
- 重量:約320g
  ※BP-269/アンテナ/ベルトクリップを含む。

■ 送信部

- 送信出力:5W/3W/1W
- 変調方式:リアクタンス変調

■ 受信部

- 受信方式:ダブルスーパーヘテロダイン方式
- 受信感度:−13dBμ(Typ.) 12dB SINAD時
- 低周波出力:600mW(Typ.):内蔵スピーカー
  (8Ω、10%歪時)　350mW(Typ.):外部スピーカー

※定格･仕様･外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)		CH	周波数(単位：MHz)	
	送信	受信		送信	受信		送信	受信		送信	受信
01	156.050	160.650	21	157.050	161.650	72	156.625	156.625	WX1	受信専用	162.550
02	156.100	160.700	22	157.100	161.700	73	156.675	156.675	WX2	受信専用	162.400
03	156.150	160.750	23	157.150	161.750	74	156.725	156.725	WX3	受信専用	162.475
04	156.200	160.800	24	157.200	161.800	75*	156.775	156.775	WX4	受信専用	162.425
05	156.250	160.850	25	157.250	161.850	76*	156.825	156.825	WX5	受信専用	162.450
06	156.300	156.300	26	157.300	161.900	77	156.875	156.875	WX6	受信専用	162.500
07	156.350	160.950	27	157.350	161.950	78	156.925	161.525	WX7	受信専用	162.525
08	156.400	156.400	28	157.400	162.000	79	156.975	161.575	WX8	受信専用	161.650
09	156.450	156.450	60	156.025	160.625	80	157.025	161.625	WX9	受信専用	161.775
10	156.500	156.500	61	156.075	160.675	81	157.075	161.675	WX10	受信専用	163.275
11	156.550	156.550	62	156.125	160.725	82	157.125	161.725			
12	156.600	156.600	63	156.175	160.775	83	157.175	161.775			
13	156.650	156.650	64	156.225	160.825	84	157.225	161.825			
14	156.700	156.700	65	156.275	160.875	85	157.275	161.875			
15*	156.750	156.750	66	156.325	160.925	86	157.325	161.925			
16	156.800	156.800	67	156.375	156.375	87	157.375	161.975			
17*	156.850	156.850	68	156.425	156.425	88	157.425	162.025			
18	156.900	161.500	69	156.475	156.475						
19	156.950	161.550	70	受信専用	156.525						
20	157.000	161.600	71	156.575	156.575						

*Lowパワー専用のチャンネルです。

MEMO

MEMO

高品質がテーマです。

A-6800D-1J-①b
Printed in Japan
© 2009–2012 Icom Inc.
この印刷物は環境にやさしい再生紙と植物性インクを使用しています。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32